

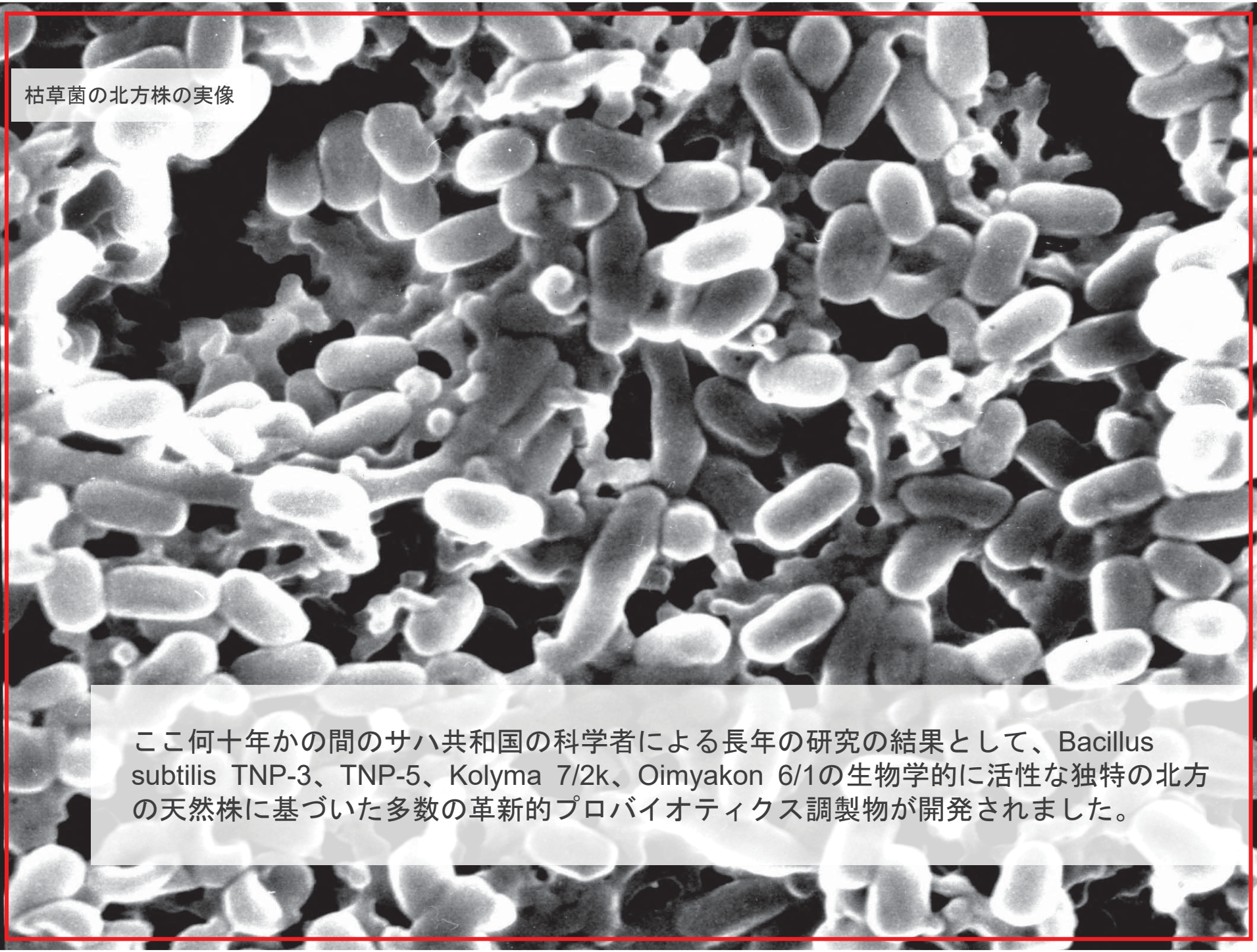
有限会社 研究生産センターHotu-Bact



有限会社研究生産センターHotu-Bactは特許取得済みのバイオテクノロジー手法を使用して枯草菌のユニークな北部株に基づいて革新的な製品を開発し製造するのはロシアの北東で唯一の企業です。

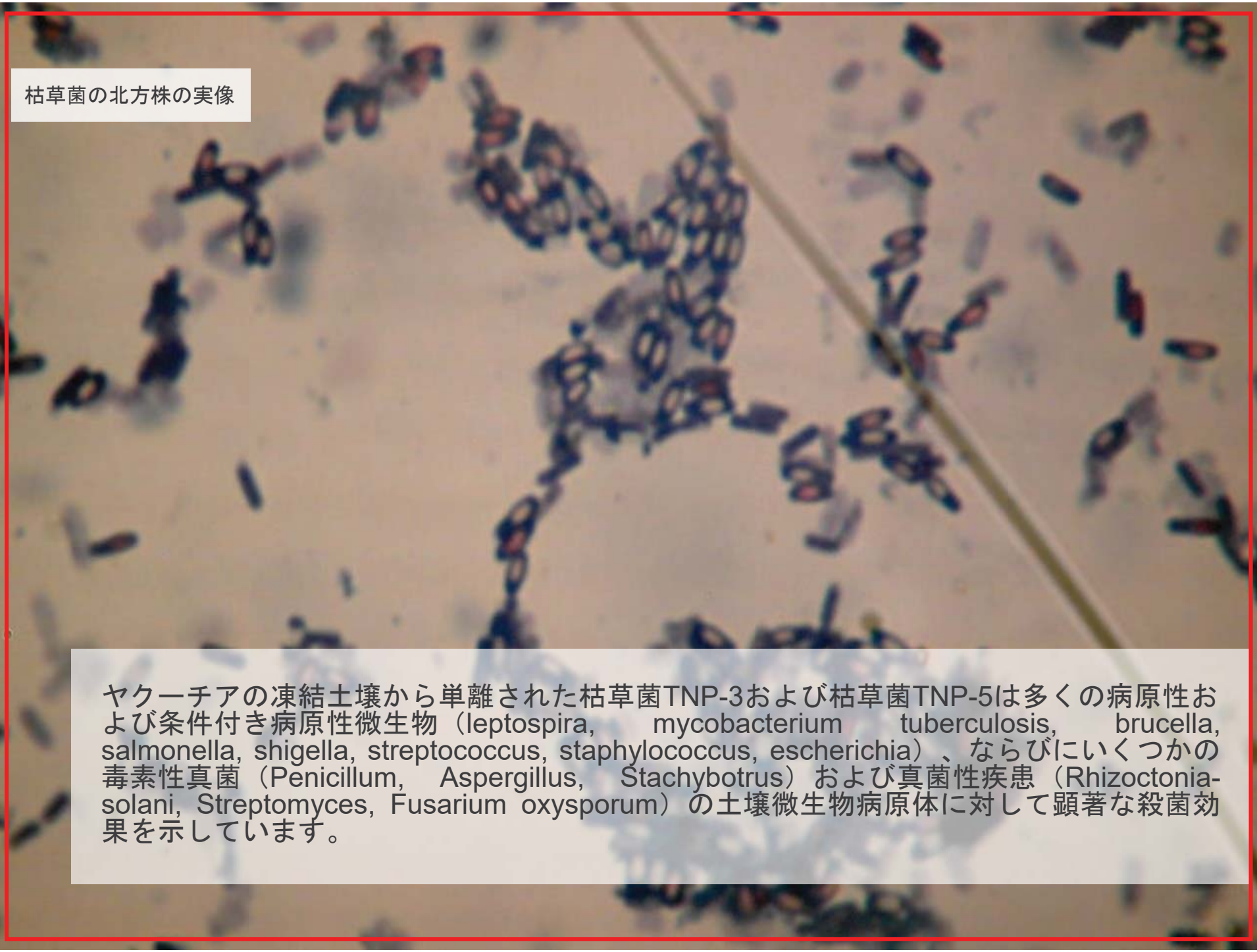


Hotu-BactはステイトイノベーションセンターSkolkovoのリモート居住者です。
Skolkovoとは新しい技術の開発と商業化のための現代のロシアの科学技術革新複合施設です。



枯草菌の北方株の実像

ここ何十年かの中のサハ共和国の科学者による長年の研究の結果として、*Bacillus subtilis* TNP-3、TNP-5、Kolyma 7/2k、Oimyakon 6/1の生物学的に活性な独特の北方の天然株に基づいた多数の革新的プロバイオティクス調製物が開発されました。



枯草菌の北方株の実像

ヤクーチアの凍結土壌から単離された枯草菌TNP-3および枯草菌TNP-5は多くの病原性および条件付き病原性微生物（leptospira, mycobacterium tuberculosis, brucella, salmonella, shigella, streptococcus, staphylococcus, escherichia）、ならびにいくつかの毒素性真菌（Penicillium, Aspergillus, Stachybotrus）および真菌性疾患（Rhizoctonia-solani, Streptomyces, Fusarium oxysporum）の土壌微生物病原体に対して顕著な殺菌効果を示しています。

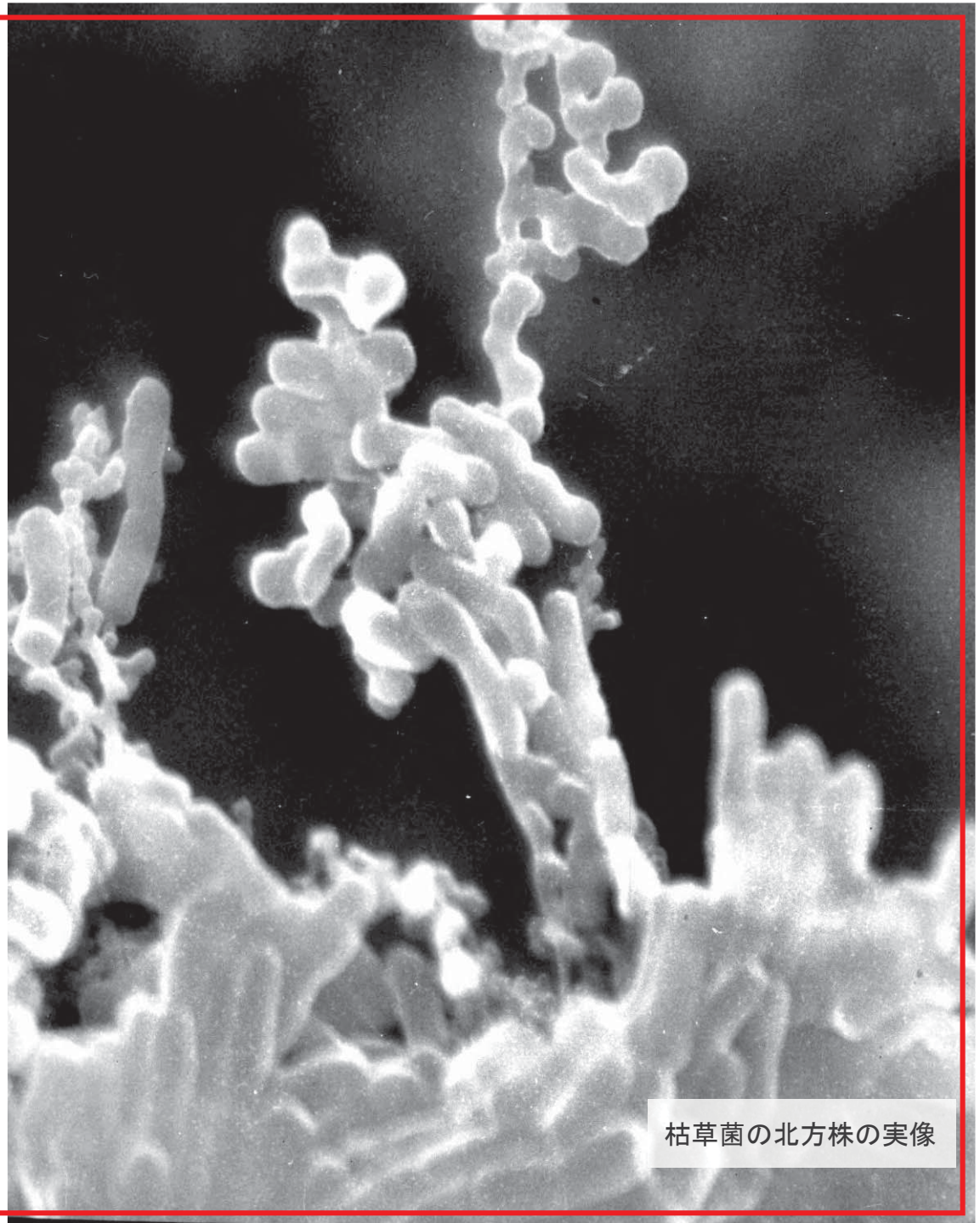
枯草菌TNP-3および 枯草菌TNP-5の 菌株

抑制するのではなく、むしろ腸内の有益な微生物叢（ラクトとビフィズス菌）の成長と発達を促進します。

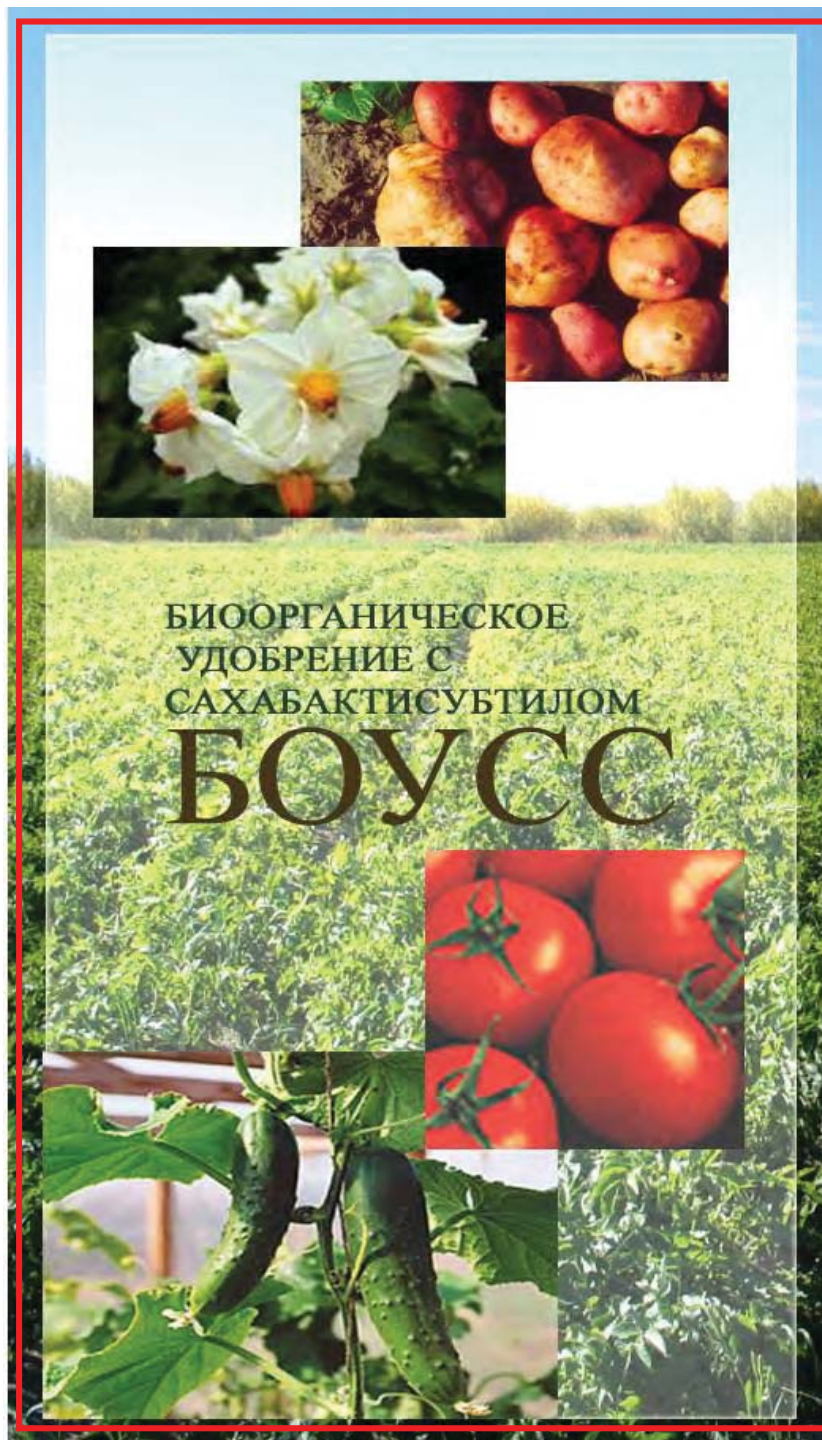
内因性インターフェロンの誘導によってウイルス性疾患に有効があります。

タンパク質分解活性、ゼラチナーゼ活性、アミラーゼ活性、セルロース分解活性、 β -グルコナーゼ活性および顕著なキシロナーゼ活性とフルクトシルトランスフェラーゼ活性を有する酵素を生産します。

広範囲の抗生物質に耐性があるため、抗生物質と組み合わせて使用することで、すばやく細菌異化症を解消することができます。



枯草菌の北方株の実像



枯草菌Kolyma 7 / 2k、Oimyakon 6/1の菌株によって植物の保護、土壌肥沃度の改善、油で汚染された永久凍土土壌のバイオレメディエーションが行われることに対する研究結果があります。

それらは永久凍土において保存されている巨大動物相の代表の古微生物叢から分離された。

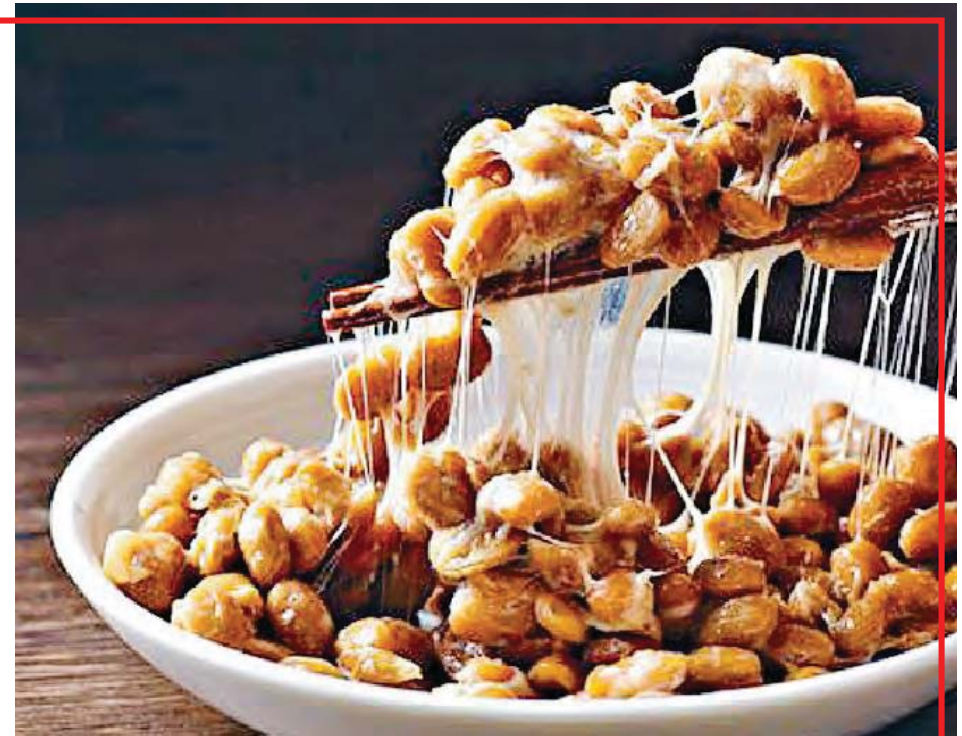
現在、枯草菌の細菌株に基づくプロバイオティクス衛生と消毒剤の開発に関する研究が行われています。

バイオ有機肥料

東南アジアの国々、特に日本では、納豆菌の製品として枯草菌発酵製品が伝統的に使用されていることが知られています。

サハ人の食事生活では昔ながら伝統的な発酵乳製品も長い間使用されてきました。その中で、枯草菌株の優位性が確立されています。

以前、北部の極端な気候条件に住んでいるサハ人はソビエト連邦の長生き民族の一つでした（寒くて長い冬（最大 -70°C ）、短くて暑い夏（最大 $+40^{\circ}\text{C}$ ））。



A male scientist with dark hair, wearing safety glasses and a white lab coat, is holding a test tube with a blue cap containing a red liquid. He is looking down at the test tube with a focused expression. The background is a blurred laboratory setting with various equipment.

ご関心がございましたら我々は皆様のBacillus属の細菌株を使用して何世紀にもわたる経験を勉強する準備ができています。 また、サハ共和国の自然環境から分離された枯草菌菌株の研究に関する共同研究プロジェクトにも協力して、幅広い用途の共同生物学的製品を開発したいと思います。

契約ベースで枯草菌菌株の使用に関する弊社の開発を移管する可能性を検討することも可能です。



当社の製品は有効性とスペクトルの幅の点でも多くの外国およびロシアのプロバイオティクスを上回っています。

我々の開発の科学的な新しさはロシア連邦の24の特許によって保護されています。その開発を商品化するために革新的な有限会社研究生産センターHotu-Bactが組織されました。医薬品の製造はロシア連邦農業管理局によってライセンスされています。





ミハイル ネウソトロエフ

有限会社研究生産センターHotu-Bact
社長、獣医学博士、教授、ロシア連邦
名誉科学者、ロシア科学アカデミーシ
ベリア支部の獣医バイオテクノロジー
研究室長、Skolkovo財団のメンバー、
Yakutiaテクノパークの居住者